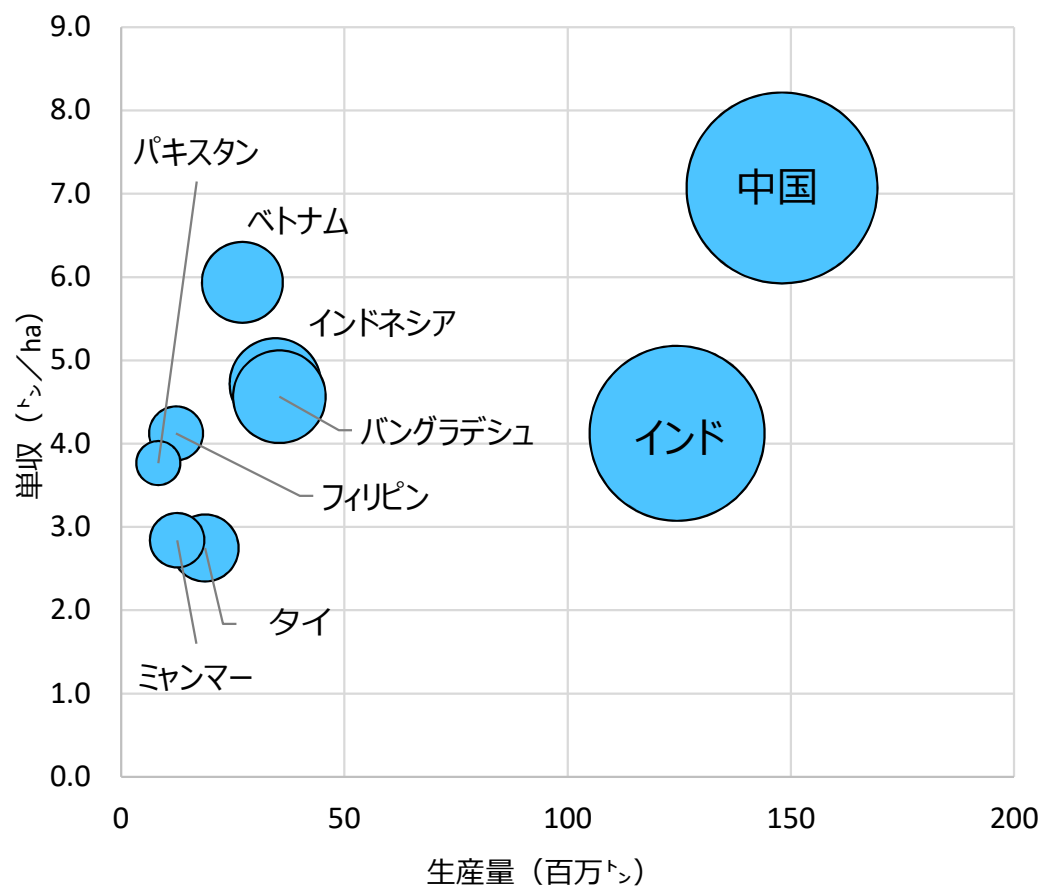


12 米需給と貿易動向

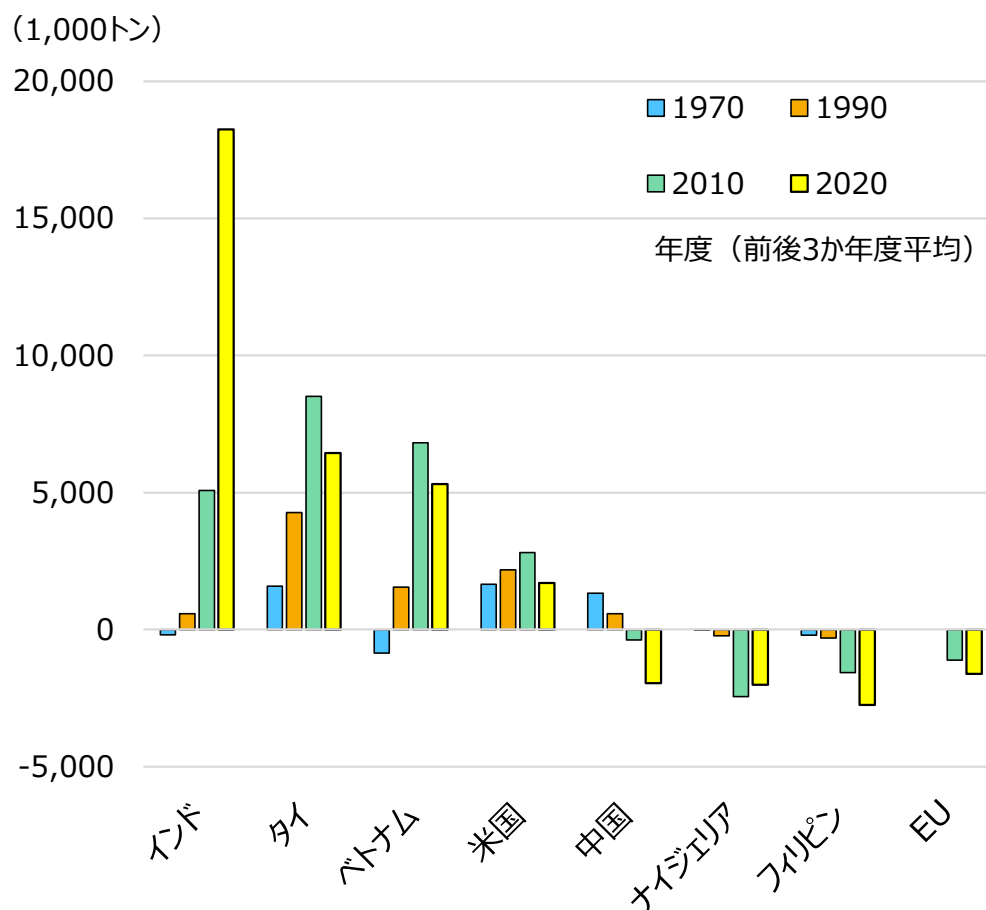
- 世界の米生産量(2019-21年度平均)は、アジアが生産量の9割を占める主要穀物。中国、インドの上位2か国で54%のシェアを占め、バングラディシュ、インドネシア、ベトナム、タイと続く。
- 輸出量は、インドが36%のシェアを占め、タイ、ベトナムが続く。
- 単収は、主要輸出国のインド、タイ、ベトナムや主要生産国の中国の間でも差が大きい。
- ナイジェリア等のアフリカ諸国の輸入量が増加。サブサハラ・アフリカの輸入量は世界の輸入量の約1/3。

① 世界の米生産量・単収と主要国の生産量シェア（2019-21年度平均）



資料：USDA PS&D Online Data

② 国別米純輸出量の推移

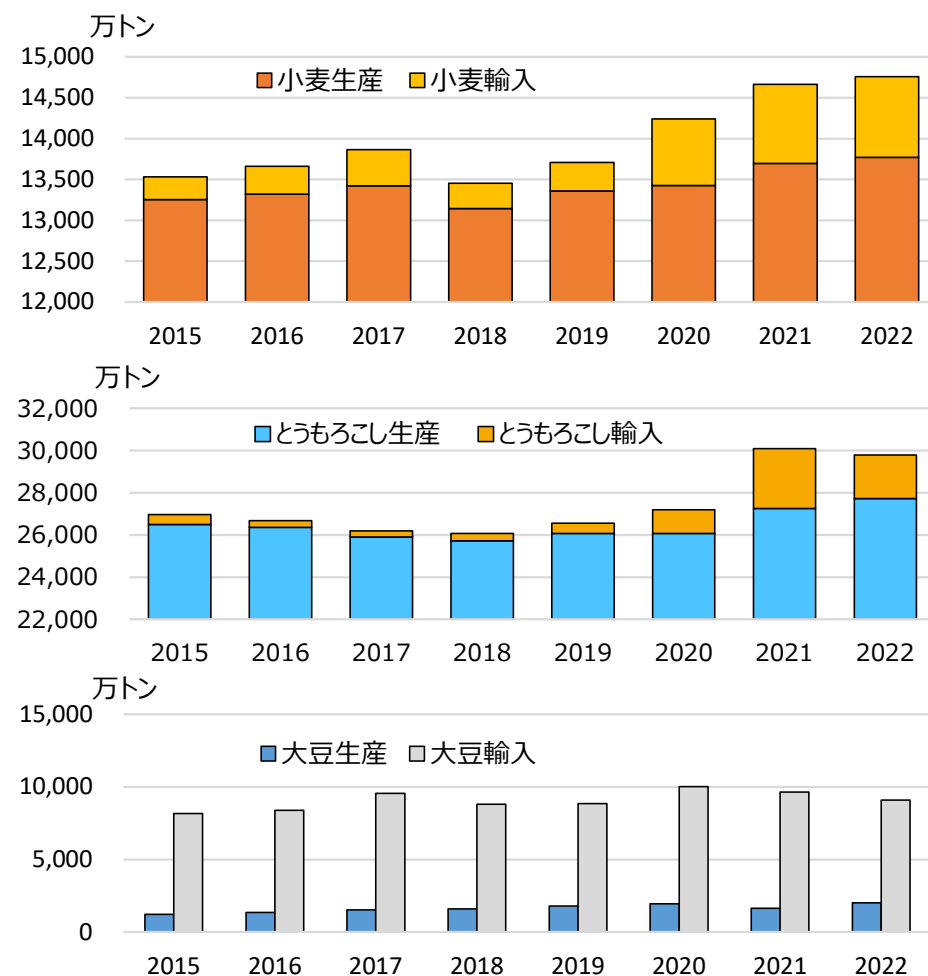


資料：USDA PS&D Online Data

13 中国：食糧増産路線を再強化、食用油自給率向上目指し、大豆・油糧の増産重視

- 2022年の食糧(米、小麦、とうもろこし、豆類、いも類、その他穀類)の総生産量は6億8,653万トンと史上最高を記録。2015年以降8年連続6億5千万トン超え、特に大豆は、前年より24%増の2,029万トン。菜種は6%増の1,553万トン。
- とうもろこし:2億7,720万トン、小麦:1億3,772万トン（共に史上最高）、米:2億0,850万トン（干ばつ等で2%減）。
- 輸入は小麦が前年を上回る987万トン、米も碎米等で25%増の616万トン、一方で、とうもろこし2,062万トン（27%減、米国・ウクライナからの輸入減少）、大豆9,108万トン（6%減）とも減少。油糧種子の輸入も11%減（496万トン）。
- 2023年より新たな5千万トン増産活動スタート、特に大豆と油糧種子（菜種等）の増産・食用油「自給率」向上を重視。
- 食糧生産の補助と最低買付価格保障を活用、「食糧省長責任制」に加え「副食品市長責任制」で生産目標達成を目指す。

① 小麦・とうもろこし・大豆の生産と輸入



② とうもろこし・大豆・米生産者補助制度（黒竜江省の例）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
とうもろこし	133元	25元	30元	38元	68元	28元
大豆	173元	320元	255元	238元	248元	248元
米			133元	136元	133元	地下水90元・地表水140元

注1：1ムー（1/15ヘクタール）当たりの補助単価

注2：補助対象は、とうもろこし・大豆は黒竜江・吉林・遼寧・内蒙古、米は各省

③ 近年の米、小麦の最低買付価格の推移（単位：元／50kg）

	早生 インディカ	中・晩生 インディカ	ジャポニカ	白小麦、混合麦、 紅小麦
2014年	135	138	155	118
2015年	135	138	155	118
2016年	133	138	155	118
2017年	130	136	150	118
2018年	120	126	130	115
2019年	120	126	130	112
2020年	121	127	130	112
2021年	122	128	130	113
2022年	124	129	131	115
2023年	126	129	131	117

注：対象は米が黒竜江省など11省・区、小麦が河北省など6省。

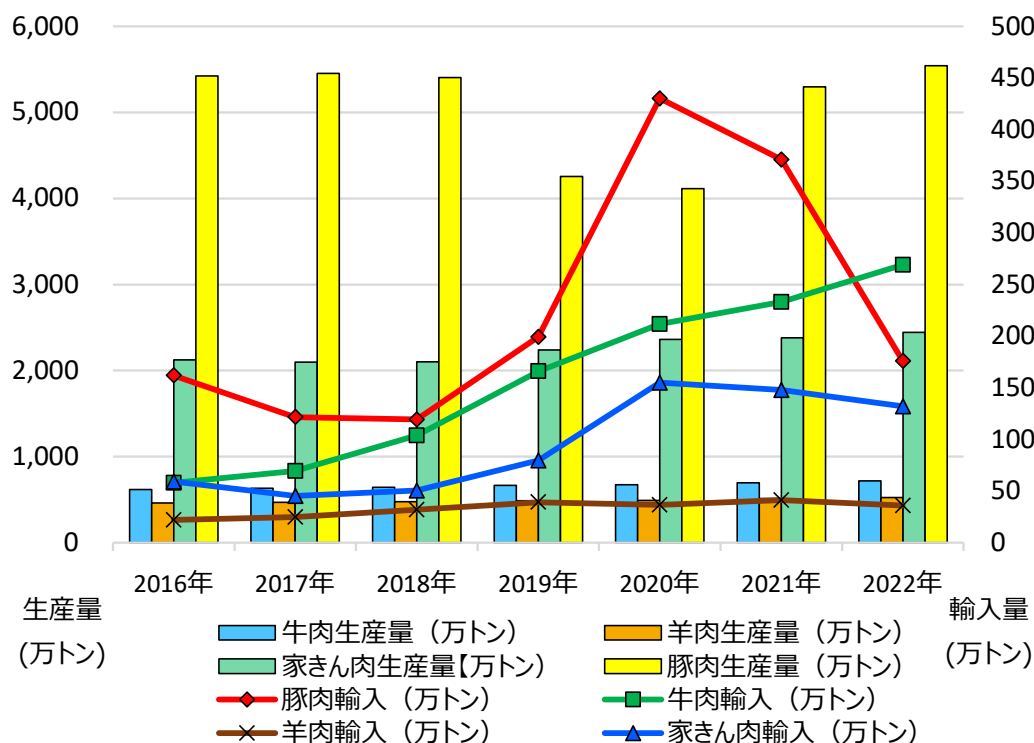
【参考】

2016年以降、「量から質への転換」と「糧経飼三元構造」を目指す方向。2021年からは、再度食糧増産へ転換へ。種子対策と耕地面積確保・圃場の高規格化を推進。
 ・とうもろこしは、養豚回復による飼料用需要のため輸入急増。2017年以降の生産抑制から、再度増産へ。大豆増産との両立目指し、「带状複合栽培」を推進。
 ・2022年より輸入減目指し大豆増産へ。大豆粕需要削減・代替原料探索にも注力。
 ・国民の節約と生産・流通・加工各段階の減損抑止に注力、備蓄と食糧管理も重視。

14 中国における豚肉生産・価格等の動向

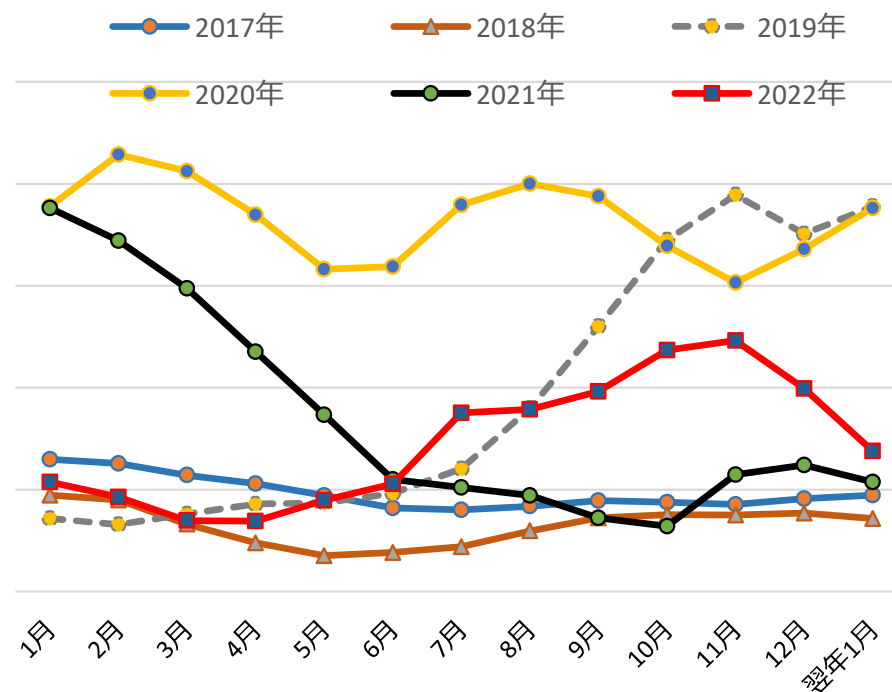
- 2018年8月にアフリカ豚熱（ASF）が発生し、2019年にかけて全国に拡大。豚肉生産量は5,404万トン（2018年）→4,133万トン（2020年）へ縮小。この間、輸入量は119万トン→430万トンへ増加。
- 2021年の豚肉生産量は5,296万トンへ急回復、2022年も5,541万トンと安定。2022年に豚肉輸入は176万トンまで減少。
- 2019年9月秋から急騰した、豚肉価格は2021年に急落。2022年も高騰から下落へ。備蓄政策等でも安定せず。
- 2021年7月から、政府は金融対策や、環境管理の適正化、繁殖母豚飼養数の合理的水準保持、養豚の大規模化や、リーダー企業と中小養豚の連結体制づくり等で生産能力の周期的変動の緩和に注力。有力企業主導の体制を強化。
- 畜産分野の5か年目標として、畜産物自給率は2025年末に、豚肉の95%、牛・羊肉の85%、家きん肉は基本自給。家畜家きんの遺伝的改良、育種・繁殖体制の強化策を推進。
- 2022年の牛肉輸入は16%増の269万トン。羊肉は13%減の36万トン、家きん肉は11%減の132万トン。

① 食肉の生産量と輸入



資料：生産量は国家統計局、輸入量は海関総署。

② 豚肉価格の推移（元/500g）



資料：農業農村部農産品需給形勢分析月報

15 ロシア・ウクライナ（1）：主要輸出国間の戦争は穀物等の市況に大きな影響

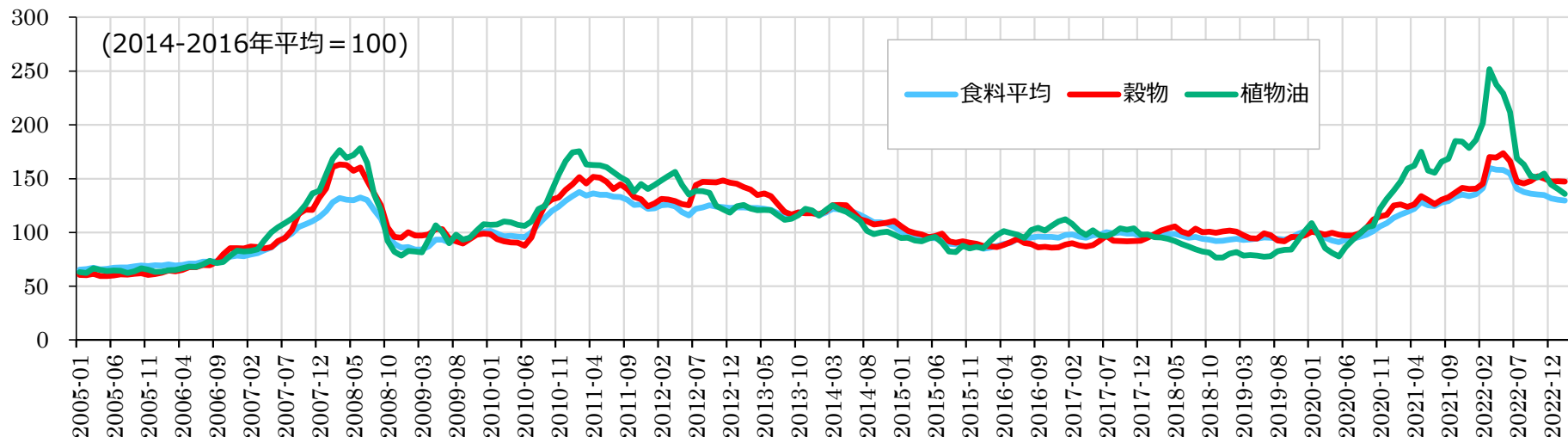
- ロシア・ウクライナは、穀物（小麦、大麦、とうもろこし）、植物油（ヒマワリ油）の主要輸出国。
- ウクライナ侵攻直後に穀物等の価格が高騰したが、その後沈静化。史上最高を記録したFAO食料価格指数（2022年3月：食料平均159.7）は、依然高水準ながら侵攻前の水準に戻る（2023年2月：食料平均129.8）。

① 世界の穀物等輸出における位置づけ（数値は戦争前）

世界の主要穀物・植物油輸出国（2018/19-2020/21年度平均、単位：千トン）								
順位	小麦		トウモロコシ		大麦		ヒマワリ油	
	国名	輸出量	国名	輸出量	国名	輸出量	国名	輸出量
	世界計	191,171	世界計	179,222	世界計	30,256	世界計	12,102
1位	ロシア	36,483	米国	55,830	EU	6,688	ウクライナ	6,007
2位	EU	31,403	アルゼンチン	38,146	ロシア	5,130	ロシア	3,243
3位	米国	26,308	ブラジル	31,942	豪州	5,118	アルゼンチン	747
4位	カナダ	24,998	ウクライナ	27,705	ウクライナ	4,244	EU	745
5位	ウクライナ	17,962	EU	4,465	カナダ	2,691	トルコ	617
参考			ロシア（6位）	3,610				
シェア	ロシア	19	ロシア	2	ロシア	17	ロシア	27
	ウクライナ	9	ウクライナ	15	ウクライナ	14	ウクライナ	50
	2国計	28	2国計	17	2国計	31	2国計	76

資料：USDA PS&D Online data

② FAO食料価格指数の推移（2005年1月～2023年2月）



資料：FAO, Food Price Index（2023.3）より作成。

16 ロシア・ウクライナ（2）：農産物輸出は継続するも先行きは不透明

- 2022年のロシア産穀物は史上最高の豊作（暫定値1億5,768万トン）。2022/23年度の穀物輸出は経済制裁等の影響から当初低調も徐々に加速。
- ロシアの輸出規制（穀物、油糧種子、ヒマワリ油等の輸出関税、無機肥料の輸出数量制限）は継続するも、供給過剰（＝輸出圧力）を背景に実質的な軽減。
- 「黒海穀物イニシアティブ」によるウクライナの穀物、油糧種子等の出荷実績は2023年3月18日までに23百万トン以上。合意は同月19日から再延長されたが、ロシアは、本来120日の延長期間を5月17日までの60日とし、その間に対口制裁緩和を実現するよう主張。

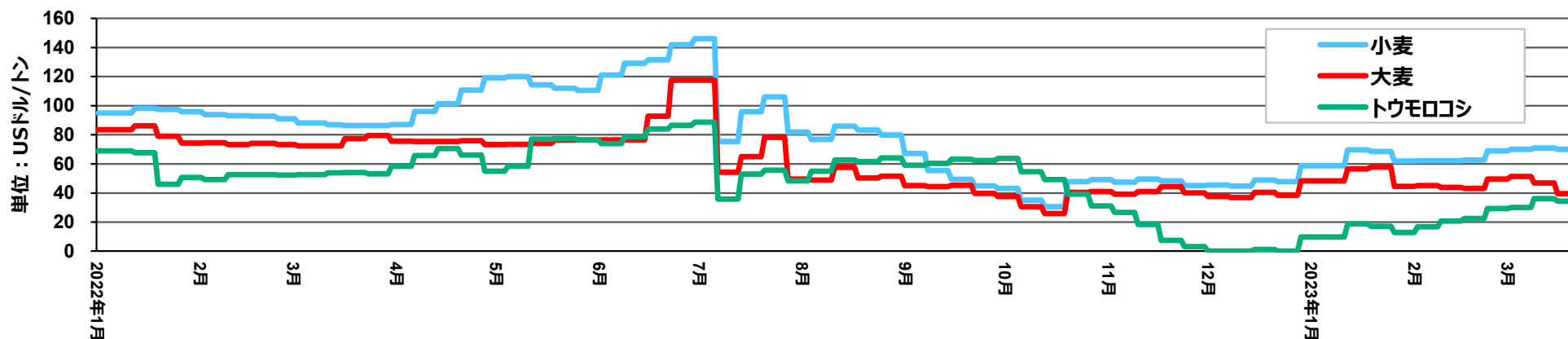
① ロシアの穀物生産・輸出動向

		2020/21年度		2021/22年度		2022/23年度	
		数量(万トン)	構成比(%)	数量	構成比	数量	構成比
収穫量	穀物計	13,346	100.0	12,140	100.0	15,768	100.0
	小麦	8,589	64.4	7,606	62.7	10,424	66.1
	大麦	2,094	15.7	1,800	14.8	2,339	14.8
	トウモロコシ	1,388	10.4	1,524	12.6	1,585	10.1
輸出量	穀物計	4,964	100.0	4,068	100.0	5,234	100.0
	小麦	3,910	78.8	3,300	81.1	4,350	83.1
	大麦	626	12.6	330	8.1	530	10.1
	トウモロコシ	399	8.0	400	9.8	330	6.3

資料：収穫量はロシア連邦統計庁、輸出量はUSDA PS&D Online data。

注：収穫量は2020,2021,2022の暦年、輸出量は農業年度（各年7月～翌年6月、2022/23年度は推計）。

② ロシアの穀物輸出関税額の推移：2022年7月の関税額USドル→ルーブル移行は実質的な減税



資料：ロシア連邦農業省から作成。輸出関税は当初のUSドル建てが2022年7月以降はルーブル建てに変更されたが、グラフではそれ以降もUSドル建てに換算。